



特許

日本ベンリー

スライドフック式
フレームタイプ

自動車専用馬組立説明書

特許日本ベンリー自動車専用馬をお買上げ戴き有難うございました。プラモデルを組立てるように楽しく次の順序に従って組立てて下さい。

- ① 長孔のL型棒の赤印の孔と、柱パネル側面最下部2ヶの丸孔とをNo.1ビス小でL型棒の平らな面が上になるようにして連結して下さい。(1図)

★注意 (柱パネルの取付方向は、両端部を平らな面が外側に、それ以外のものはそれぞれ型により違います。2図を参照して下さい。
(柱パネルの向きが違くと組立てられないことがあります。ご注意下さい。)

- ② プラスチック背板を柱パネルの最上段に裏側から背板止め金具を通して、順次端からスライドさせて各柱毎にNo.2ビスで固定して下さい。これで上下共位置が定まりました。(3図)

- ③ 長い方の丸パイプを柱パネル最上部の孔に端から順次通して(硬い時はドライバー等でこじて広げ乍ら通して下さい。)No.1ビス大と、No.3ビスでそれぞれ取付けて下さい。(3図)

- ④ プレスを柱の内側に、No.1ビス大でナットが内側になるように取付けます。(4図)
(プレス取付位置は各型により違います。裏面の仕上り図を参考にして下さい。)

- ⑤ 残りの丸パイプに、吊り環フックを各柱間2ヶづつになるように通し、┌型のパイプ止め金具を上からかぶせてNo.1ビス大で5図のように取付けます。(安全ゴムキャップも取付ける)

- ⑥ 残りのプラスチック背板を②と同様に取付けて下さい。

- ⑦ ○型固定フックを前後両端部の柱にNo.1ビス大で1ヶづつ計2ヶ取付けます。(6図)

- ⑧ ここで全部のビスを締付けます。

- ⑨ 柱パネル最下部にベース(脚部)をNo.1ビス大3個づつで取付け、締付けて下さい。(7図)

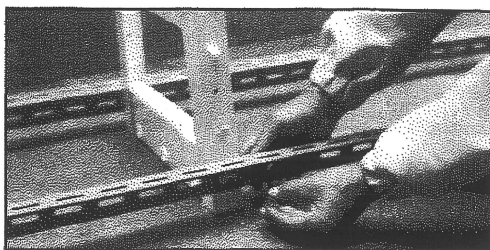
- ⑩ 長い方のL型棒を木ねじで取付けます。

- ⑪ 合板(ベニヤ)を釘で打ちつけて仕上りです。

★注意 最初ビスは仮止め程度に軽く止め⑧で締付けて下さい。

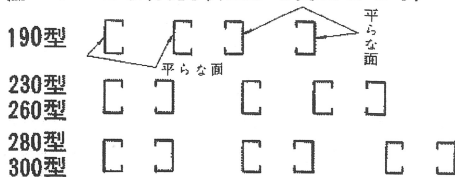
どうもおつかれ様でした。今日から皆様のお供をして一緒に頑張ります。どうぞ末長く可愛がってやって下さい。

■第1図

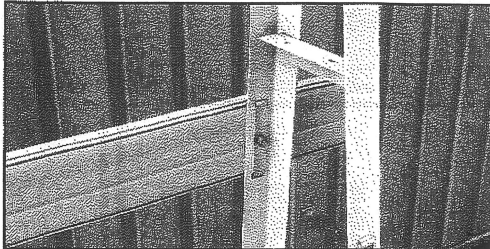


■第2図

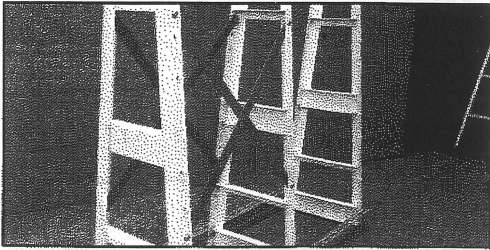
柱パネルの取付方向(上から見たところ)



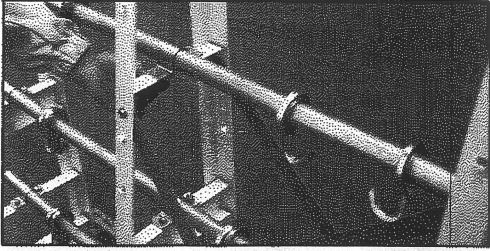
■第3図



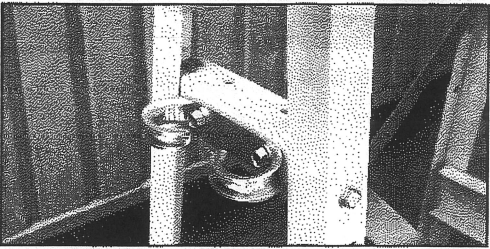
■第4図



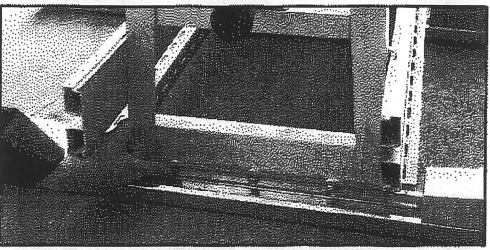
■第5図



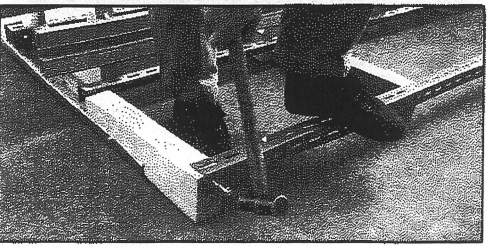
■第6図




■第7図



■第8図




日本ベンリー スライドフック式 フレームタイプ すのこ式
自動車専用馬組立説明書

●すのこ式は平底式と組立法が多少違いますのでこの説明書を主体に印刷の物と併用して下さい

組立法

★注意 最初ビスは仮止め程度に軽く止め⑧で締付けて下さい。

①梯子状のすのこ2つを突起の少ない方を内側にして並べ
つなぎアングルでそれぞれをNo.1ビスで結びます。(1図、2図、3図)
注) つなぎアングルの取付方向は型により違います。1図を参照して下さい。

②すのこ、つなぎアングルの中央部の3ヶの孔と柱△の下部の3ヶの孔とを
背中合わせに合わせNo.1ビスで結びます。(4図)
この場合、当然柱の向きは5図の様になります。(5図)

③プラスチック背板を柱パネルの最上段に裏側からパネル止めフックを通して、
順次端からスライドさせて各柱毎にビスNo.2で固定して下さい。
これで上下共位置が定まりました。(6図)

④長い方の丸パイプを柱パネル最上部の孔に端から順次通して、
(硬い時はドライバー等でこじて広げ乍ら通して下さい。)
ビスNo.1の太い方と、No.3でそれぞれ取り付けて下さい。

⑤プレスを柱の内側に、No.1ビス太い方でナットが内側になる様に取付けます。(7図)
プレス取付位置は各型により違います。仕上り図を参考にして下さい。

⑥残りの丸パイプに、ロープ掛けフックを各柱間2ヶずつになる様に通し、
∩型金具を上からかぶせて、No.1ビス太い方で8図の様に取付けます。
(安全ゴムキャップも取付ける)

⑦残りのプラスチック背板を②と同様に取付けて下さい。

⑧ QO型 の固定フックを前後両端部の柱にNo.1ビスの太い方で
1ヶずつ計2ヶ取付けます。(9図)

ここで全部のビスを締付けてます。

☆☆☆ 今日から皆様のおともをして一緒にがんばります!

・・・どうぞ末永く可愛がってやって下さい。 ☆☆☆

